

# 花巻の仕事

Made in HANAMAKI



お客さまから受託した開発製品の一例です

## 「マンション用ロッカー」

各部屋ごとの郵便物を受け取るボックスのほか、宅配の荷物を保管するボックスを備えたロッカーです。それぞれのボックスが暗証番号で管理されているため、届いた郵便物や荷物を安全に保管できます。

**会社名** 株式会社ツガワ MS開発事業部花巻工場

**所在地** 大畑9-92-4(☎0198-26-1221)

**会社概要** 昭和28年に創業し、本社は横浜市。平成18年4月にMS開発事業部花巻工場を設置。アミューズメント、鉄道、半導体、医療など多岐にわたる製品を製造。技術力・開発設計力・管理力・問題解決力を提供する企業を目指している

# 世界と花巻

The world and HANAMAKI

vol.3



コネティカット州は、たくさん雪が積もります

## コネティカット州と似ている花巻

私の生まれ育ったアメリカ合衆国は、日本の20倍以上の広さがあります。さまざまな人種が住み、文化や気候、地形が多様です。同じ日に、吹雪の中にいる人もいるし、ビーチで海水浴をしている人もいます。その広さを感じていただけるでしょうか。

アメリカには50州ありますが、私は東海岸の四

**CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出権の**  
**もうけ話にはご用心!**

■**どんなトラブルがあるの?**

○ここ2年でCO<sub>2</sub>排出権取引のもうけ話によるトラブル(多額の損失を被る)が、高齢者を中心に急増しています

○悪質な業者は、この取引について「必ずもうかる」「環境問題に貢献できる」などよいことばかりを告げて勧誘します。しかし、実際は、預けるお金の元本保証がない、複雑で危険性の高い取引です

■**注意することは?**

○突然勧誘されても、契約するつもりがなければ、はっきり断りましょう

○ほとんどの場合、CO<sub>2</sub>排出権を実際に取りせず、環境問題の解決に貢献できませんので、気を付けましょう

○高齢者が不審な勧誘を受けていないか、周りの人が見守りましょう

■**困ったときは?**

○すぐに、市民生活総合相談センター(☎24121111内線259)へ相談しましょう

# 市民生活コーナー

## クレマチスを通して 園芸の楽しさを伝えたい

◆クレマチスの特徴と魅力を教えてください

クレマチスは、つる性の植物で種類も多く彩りも鮮やかです。育てる人によって、つるの絡ませ方などさまざまな楽しみ方があるのが魅力ですが、その反面難しさもあります。

◆クレマチスとの出会いは?

実家が苗業者で、その中にクレマチスがありました。そのころは専門ではなかったのですが、10年ほど前からクレマチス専門になり、今では約300種類を扱っています。

◆栽培で気を付けていることは?

苗木の状態販売していき、花の魅力を伝えていきたいと思えます。もつと園芸を楽しむ人が増えればいいですね。

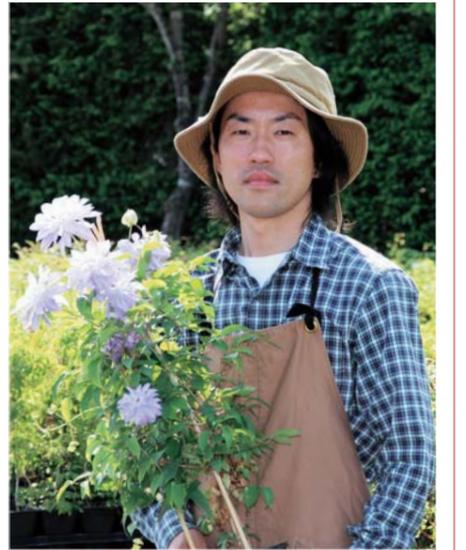
◆今後の目標は

さまざまな活動を通して、花の魅力を伝えていきたいと思えます。もつと園芸を楽しむ人が増えればいいですね。

◆イベントを開催しているところ、購入していただいた後に、しっかり花が咲くように心を込めて栽培しています。

◆イベントを開催しているところ、購入していただいた後に、しっかり花が咲くように心を込めて栽培しています。

# パーソナル 82



おいかわ ようま 及川 洋磨 さん (東和町砂子 34歳)



花巻市国際都市推進員 ジェシー・ガットマンさん

この州で暮らしたことがあります。この経験から、地域によるさまざまな違いを知ることができました。言葉のアクセントも北の地域と南の地域では異なります。また、一般的に政治に対する考え方にも違いがあります。北の地域の人たちは進歩的であり、南の地域の人たちは保守的である傾向があります。

私が子どものころ過ごしたコネティカット州は東海岸の北に位置し、花巻と同様に雪がたくさん降ります。私が最初に花巻に来たのは、ことしの1月でしたが、雪、山、高い木などを見て、子どものころを思い出しました。花巻の様子が自分の古里の写真を見ているような感じがしたのです。

私は今、日本に住んでいることがとてもうれしです。日本は、歴史がある美しい建物と近代的な街並み、先進的な技術が融合した、素晴らしい国だと思っています。

## いきいき仲間たち



## 地域の宝 伝統の舞を継承

### 湯本田植踊保存会

【問い合わせ】  
会長 高橋 毅 さん(☎27-2039)



湯本田植踊上演の様子。写真右上は、田植え作業を手伝う仕草、写真上は稲刈り作業を表したものと

ことし5月、市指定無形民俗文化財に指定された「湯本田植踊」。その伝統の舞を保存伝承しているのが、「湯本田植踊保存会」の皆さんです。

湯本地区に田植踊が伝わったのは、明治の後半といわれています。同会の活動も、同じころに始まり、地域の人たちに代々受け継がれてきました。

現在の会員は、小学生10人を含む23人。芸能祭や神社の祭りなどで演舞を披露しているほか、地元の旅館やホテルに赴き、観光客を田植踊で迎えることもあります。

「子どもたちに多くの舞台を踏ませ、自信を持たせたい」と話すのは、同会会長の高橋毅さん。「今の活動を継続するのが課題。文化財指定をステップに、後継者を育成し、いつまでも伝承していきたい」と意欲を新たにしています。